平成29年4月5日

久留米大学法学部同窓会会報

KURUME UNIVERSITY LAW ALUMNI ASSOCIAITION

2017

2017年号

久留米大学法学部同窓会会報

CONTENTS

ご挨拶
新学部長ご挨拶　神原　和宏　1
前学部長ご挨拶　荒井　　功　1

大学近況
久留米大学創立90周年事業　2-3
ホームカミングデー実施　4-5

特集
当世学生生活事情紹介　下宿／学生寮　6-9
熊本・大分地震発生　10-11
退職記念　最終講義／祝賀パーティ　西嶋　法友
同窓生の皆様へご挨拶　阿部　和光　12-14

学部支援
法学部講義　「職業と社会」支援/「講師感謝の集い」開催　15

大学行事
久留米大学中国会創立10周年記念会／あのく祭　16

同窓会行事支援
法学部パーティ／欅会／国際交流懇親会　17

同窓会支部便り
福岡支部／久留米支部／学内支部／佐賀支部　18

サークル訪問
久留米大学硬式野球部　19

卒業式
法学部第27回卒業式・祝賀会／卒業生抱負　20

同窓生紹介
柴田大輔さん／胡 薇さん／稲田賢さん　21

卒業生に会える店
「BAR　ETERNITY」　22

寄稿　海外旅行記
「フィンランド編」　23

同窓会活動
平成28年度　定期総会／懇親会　24
同窓会活動報告／平成27年度決算・平成28年度予算　25

久留米大学トピックス
地域学演習　学生プロデュース酒『久留米大学酒』発売　26
久留米大学オリジナルグッズの紹介2017　27

大学通信
大学便り　28

同窓会事務局より
平成29年度　定期総会・懇親会開催のお知らせ他　29

●表紙写真

御井キャンパス遠景（高良山より望む）

御井キャンパスでは2013年に着工した御井本館の工事が2016年10月に完了しました。御井本館は地上10階、地下1階建で、2015年4月から運用を開始していた教室棟（I期工事）に加え、研究棟（II期工事）も運用開始し、新たなキャンパスの息吹を感じさせます。

●裏表紙写真

御井キャンパス遠景（2013年度空撮）

御井本館着工直前の在りし日のキャンパスの姿です。会報が届くころにはもう300号館も撤去され、200号館の取り壊しが進められていることと思います。懐かしいキャンパスの姿をご確認ください。

会報発刊によせて

折戸　謙介

久留米大学法学部同窓会　会長

今年も無事に会報を皆様にお届けすることが出来ました。なぜ『無事に』なのかというと、さまざまな紆余曲折の上での発刊となったからです。皆様のお手元に昨年の会報があれば、もう一度御覧になって下さい。ページも少なく、内容も最低限のものしか載っていないのが分かると思います。それに比べて、今年の会報は内容も盛りだくさんの充実した内容になっているのではないでしょうか。

現在、同窓会の執行部では、大幅な世代交代を考えています。再建から10年以上が経ち、新たな世代へとバトンタッチするべき時期が近づいています。しかしながら世代交代というのは難しいもので、この二年ほど色々なことがありました。昨年は体制がうまく整わず、最低限の内容の会報しか発刊することが出来ませんでした。そこで今年は気合いを入れ直し、刷新した体制の中で、会報を作成致しました。結果、充実した内容の会報を皆様にお届け出来て本当に安堵しています。来年以降も更に充実した内容の会報をお届けできると思います。

そして、例年どおり今年も5月第4週の土曜日に総会及び懇親会の開催を予定しています。新たな試みもたくさん行い、充実した総会及び懇親会になるはずです。お忙しい中とは思いますが、是非とも参加頂き、新生した同窓会を実際の目で確認して下さい。

新学部長ご挨拶

神原　和宏

法学部卒業生の皆様、こんにちは。本年４月より前任の荒井功教授から引き継いで、学部長を務めさせていただくことになりました神原です。荒井先生は昨年１１月より副学長を兼務されていましたので、今後は副学長として引き続き大学行政に携わられることとなります。

さて、本学御井キャンパスの報告ですが、一番大きいのはやはり御井本館の完成でしょう。昨年10月に２期工事が完了し、私たちの研究室も１１月には新棟に移りました。同時に皆様が学生時代に大いに利用された学生課や教務課をはじめとした事務部門も新棟の１階の広く快適な空間に移り、学生の皆さんの利便性も格段に上がったと思います。１０月３０日にはそれを記念して、第２回ホームカミングデーが開催され、多くの卒業生の方とお会いすることができました。工事の方はさらに、２００号館と３００号館を解体して、建物の周りの外構や緑地整備を行う３期工事が行われています。それは今年の８月に完成されるとのことですが、そうすれば御井キャンパスの風景も卒業生の皆様が在学中とはまた違ったものとなっていると思います。ぜひ一度大学にお越しになられ、新しい御井キャンパスをご覧になっていただきたいと存じます。

法学部のご報告ですが、最近は情報発信に力を入れています。ご覧になられた方も多いと思いますが、法学部のホームページでは新たにブログを開設し、担当の上村一則教授のご尽力で頻繁に更新し、学部の近況を報告させてもらっています。また、公式のフェイスブックページやツイッターも設けており、そこでも積極的な情報発信を行っています。卒業生の皆様もぜひご覧ください。

その他、４月の新入生オリエンテーション合宿や１２月の法学部パーティといった恒例行事のほか、８月には前田俊文教授の企画された絣フェスタ、本年１月には卒業生の方も招いての西嶋法友教授と阿部和光教授の最終講義など、いろいろなイベントを行ってきました。その際、法学部同窓会には大変ご協力いただき感謝しております。本年度は、可能であれば法学部の３０周年関連の行事も行えればと考えているところです。

最後になりましたが、私は上記のホームカミングデーや様々なイベント、法学部同窓会総会やその後の懇親会その他のいろいろな機会を通じて、卒業生の方と交流させていただく機会が何度かありましたが、そのことは大変ありがたいことだと思っています。そして今後もさらに多くの卒業生の方とお会いできればと思います。皆様は社会人として大変お忙しくご活躍中のことだと存じますが、お時間があるときはぜひ法学部同窓会の総会や懇親会、あるいは今後開催されるであろう様々なイベントにご参加いただき、親睦の機会を持つことができれば幸いです。

今後とも法学部に対する温かいご支援をよろしくお願いします。

前学部長ご挨拶

荒井　　功

卒業生のみなさんお元気でしょうか。法学部長を退任するにあたり、大学の動きについてご報告いたします。御井キャンパスでは、御井本館工事が昨年９月に二期工事を終え、事務管理部門及び教員研究室への移転が１１月に行われました。３００号館及び２００号館の撤去と外構整備をおこなう三期工事も夏には竣工の予定です。ホームカミングデーの折には見学にお越しください。

４月には人間健康学部が誕生します。総合こども学科（定員５０名）とスポーツ医科学科（定員７０名）からなる文医連携の新学部です。昨年度より導入している全学副専攻課程もふくめて教育メニューがさらに充実しました。外部団体との関係では、三井住友銀行及び筑邦銀行、久留米市、筑後市、浮羽市、青森中央学院大学など、経済界や自治体、大学との連携協定も結ばれ、アクティブ・ラーニングの教育プログラム実施されることとなりました。

法学部関係では、九州法学会を昨年６月に本学で開催しました。また７月には地域社会との企画として、絣フェスタを六ツ門シティープラザで開催しました。学生による久留米絣のファッションショーをはじめ、インドネシアからバティック織の研究者も招き国際交流も深めました。学生が自ら計画して調査発表を行う国内外の体験実習も好評です。これらもふくめて、上村教授が法学部公式ブログをホームページに掲載していますので御覧ください。人事では、西嶋法友法学部教授、阿部和光法科大学院教授が３月で定年を迎えられます。なお４月以後も特任教授・客員教授として教育面でご助力いただきます。

大学人事としては本学出身の最初の理事長として精力的に活躍された神代正道理事長が昨年１２月に退任され、永田学長が１月より理事長を兼任されることになりました。また、学校教育法改正にともなう大学ガバナンス強化の一環として、本学でも副学長職が設けられ、昨年１０月に内村医学部長と私が任じられております。久留米大学基本構想に続く将来計画の策定も進んでおり、文系では戦略的な教育改革や組織強化の提案が盛り込まれる見込みです。

法学部長職は３月をもって退任しますが、ひきつづき副学長職にあたります。微力ながら久留米大学の発展に尽くしたいと考えております。今後とも久留米大学を応援くださいますようお願いいたします。

久留米大学創立90周年記念事業が本格稼動!!

御井本館全景

御井本館1F

久留米大学は1928（昭和３）年に九州医学専門学校として創設され、1950（昭和25）年には久留米大学と組織変更し、以降多くの困難を乗り越え、平成29年４月現在、６学部13学科４専攻科１別科、２大学院5研究科、１高校、１中学、1専門学校を有するほか、２つの附属病院を擁する名実ともに西日本有数の総合大学として発展を続けています。

さらに「実践的人材の育成」と「地域文化への貢献」を基本理念として掲げ、社会の要請に応えるべく多くの有為な人材を輩出し、教育研究拠点、地域医療の核として2018（平成30）年には創立90周年を迎えることとなりました。

この記念すべき創立90周年に、今後も地域とともに発展する大学を目指し、久留米大学では様々な教育研究の質の充実を図るべく「創立90周年記念事業」計画を進めております。すでに、平成26、27年度同窓会報でもお伝えしておりますが、ようやく事業の中核のひとつである「御井学舎施設設備整備事業」の「御井本館」が竣工しました。

施設は、すでに利用開始している第Ⅰ期竣工分の地上８階、地下1階の施設に加え、平成28年10月に事務部門、学長室、会議室、教室（スモールラーニングコモンズを含む）や研究室、経済社会研究所、ビジネス研究所などが入居する地上10階建ての第Ⅱ期工事が完成し、平成28年11月から利用が開始されております。

この施設の完成により、教室の増加等教育・研究へのメリットのほか、学生・教員が快適に過ごせる環境が整備されたことにより、学生や受験生の皆さんの知的好奇心とモチベーションを上げる施設として期待されています。

今後は、すでに平成28年12月より開始された旧300号館の解体工事に加え、旧200号館の解体作業も進められており、さらには大学と境界で接していた農水省旧敷地の一部を含めた丘陵地の一体整備が進められることとなります。

同窓生の皆様にこの会報が届くころには慣れ親しんだ施設が取り壊され、新しい御井キャンパスの姿を見ることができると思います。よろしければこの機会に古巣のキャンパスに足を運んでいただき、変化をご自身の目でご確認いただければと思います。また、同窓生の皆様には、是非学びなおしの場として、積極的に御井本館をご活用いただければと思慮します。

御井本館正面入口

法学部同窓会も同窓団体として創立90周年記念寄付を実施！

創立90周年記念寄付については、すでに同窓生や保護者の皆さまなど関係各位から多くのご賛同を賜っているところですが、久留米大学法学部同窓会でも創立90周年記念事業募金として300万円の寄付を行うことを平成28年5月開催の法学部同窓会総会にて提案し、承認を得ております（事業年度は3ヵ年にわたる）。それを受け、法学部同窓会では平成28年12月22日（木曜日）、学校法人久留米大学理事長室において同寄付金目録の贈呈を行いました。

法学部同窓会からは折戸謙介会長、林田俊彦財務担当理事および古賀美早紀理事が来学し、本学からは神代正道理事長、永田見生学長および廣田りょう常務理事同席の下、折戸会長から神代理事長に目録が手渡され、神代理事長から本学の更なる発展のために有意義に活用させていただく旨の御礼の言葉が述べられました。

引き続き、同窓生の皆様からもご支援をお待ち申し上げます。（広報・林田）

このほかの記念事業も続々着工!!

創立90周年記念事業では、「御井学舎施設設備整備事業」のほか、旭町キャンパスでは、以下のような施設の整備が進められております。

〈〈基礎３号館の新築〉〉

地上6階建。医学部情報教育施設のほか分子生命科学研究所、循環器病研究所などのほか、動物実験センターや学外開放型動物実験施設などが入居予定。平成30年3月竣工を目指して建設中。

〈〈病院北館の新築〉〉

地上5階建。放射線腫瘍センターのほか、臨床研修センター、専攻医員室、講座医局、病院施設が入居予定。平成30年3月竣工予定を目指して建設中。

〈〈その他の記念事業〉〉

創立90周年記念式典を2018（平成30）年4月28日（土曜日）、会場は久留米シティプラザにて開催予定です。

「基礎３号館」

「病院北館」

創立90周年記念事業募金にご協力ください

久留米大学では、これまでご紹介してきた創立90周年記念事業達成をご支援いただくために、「創立90周年記念事業募金」を受け付けております。同窓生のみなさまのご理解とご協力を得まして、未来ある久留米大学を築き上げていきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

募金概要

・個　　人：1口　1万円　1口以上
・会社等法人：1口　10万円　1口以上

募金の範囲

・久留米大学役員、評議員、教職員、学生・生徒の保護者、同窓生、募金の趣旨にご賛同いただける有志、会社等法人、団体、グループ等

申込方法

1．銀行または郵便局を利用
　本学所定の寄付申込書兼振込（払込）用紙を送付いたしますので、下記お問い合わせ先までメール、電話またはFaxにてご連絡ください。
2．インターネットからのお申し込み（個人の方のみ）
3．その他

直接本学へ寄付金をお持ちいただく場合は、募金事務局（財務部経理課）にて承ります。

お問い合わせ先（申込書提出先）

〒830-0011　福岡県久留米市旭町67番地　久留米大学　募金事務局　（財務部　経理課）
Tel/0942-31-7530（直通）　0942-35-3311（代表）　内線：2138　Fax/0942-31-7927
E-mail/keiri@kurume-u.ac.jp

久留米大学御井キャンパス 御井本館完成 第2回 ホームカミングデー 開催

平成28年10月30日（日）、完成を迎えた御井キャンパスのシンボルタワーとなる“御井本館”でお披露目を兼ねたホームカミングデーが開催されました。

平成25年9月に着工し、平成27年1月22日に竣工式を終えた御井本館第Ⅰ期工事に引き続き、第Ⅱ期工事の完了を待って、平成28年10月3日（月）に落成式を迎えました。

この御井本館は、旧100号館・旧400号館とそれに囲まれるようにして設けられていた庭園部分を取り壊した跡地に建てられたものです。管理（事務）棟、教室・研究室の機能を併せ持ち、御井キャンパスの新たな教育、研究環境の整備充実を図り、久留米大学の新しい時代を拓く役割を担うシンボルとなります。

さて、第２回となるホームカミングデー。前回に引き続き、多くの卒業生やそのご家族の方々が参加されていました。たくさんの同窓生の方々が参加されるということもあり、わが同窓会としても、全面的にご協力させていただきました。

卒業してから数十年ぶりに久留米大学御井キャンパスに足を運ばれる方もおられ、在学中にはなかった新しい施設等を写真に収める方や、御井キャンパス内のレイアウトが当時とは変わっているため、迷子になられている方もいらっしゃいました。

ホームカミングデーではまず、医学部の山岸昌一教授による講演会が催されました。その後新棟「御井本館」の見学ツアーが行われ、卒業生の皆様に見学していただきました。

そして、御井学生会館２階「欅（けやき）」に場所を移して懇親会が開催されました。同窓生の皆さまは懐かしい顔ぶれとの再会を喜ばれたり、チアリーディング部による演技やお楽しみ抽選会などを楽しまれたりしました。

（広報・平）

このようなイベントに限らず、同窓生の皆様にはぜひ、気軽にキャンパスまで足をお運びいただき、懐かしさと変わりゆく学び舎の姿を目にしていただければと思っております。その際は、同窓会事務局（千歳会館内）にもお立ち寄りください。

生活事情紹介

・下宿　・寮

平成 28 年度の久留米大学「あのく祭」のゲスト芸人は平野ノラさんであった。この平野ノラさんという芸人をご存知の方も多いだろう。1980 年代にはやったスーツに、髪型はソバージュ、太い眉、肩パッドという様相で TV に出演し、当時はやり流行始めの携帯電話「ショルダーホン（本人手作りらしい）」を提げて登場する方である。ネタの前には、髪の毛を振り乱しながら、1980 年時代のあるあるネタを繰り出すのだが、あの姿に郷愁を感じるのは、まさに私が 1980 年代＝バブル期絶頂のドストライク世代のためであろう（といえば年齢がばれるのだが・・・）。かく言う私の学生時代、冬になれば「どてら」に「雪駄」というバンカラスタイルで授業を受けている学生もまだ多かった（少なくとも私だけだったかもしれないが・・・）。あのころの御井学舎はまだ 2 学部のみ、のんびりした風景もあったのだが・・・・。

さて、時代は 30 年経過し、いまや御井キャンパスにはこれまでの 4 学部に新たに人間健康学部が設置され、6000 人の学生が集う大規模キャンパスに発展している。いまや「どてら」に「雪駄」の学生はほぼ皆無！あのころの面影は今いずこ・・・。ということで、今回の特集は３０代以降の同窓生は必見！現在と過去の学生生活を比較しながらの当世学生生活事情を紹介する。

「あのころ」を思い出しつつ、「いま」とを見比べてみてほしい。

下宿紹介 久留米大学

御井学舎

今回取材にご協力いただいた御井学舎事務部学生課の山本課長（左）と善家課長補佐（右）

現在、久留米大学が紹介（斡旋）している下宿はどれくらいありますか？

平成28年11月現在９施設ですね。実質経営別で見ると６件です。約30年前は７：３で下宿が多かったのですが、現在は９：１で圧倒的にアパート等が多いです。

下宿は少ないのですね。入学予定者が学生課を尋ねてくることもあろうかと思いますが、下宿希望者はどのくらいいますか？

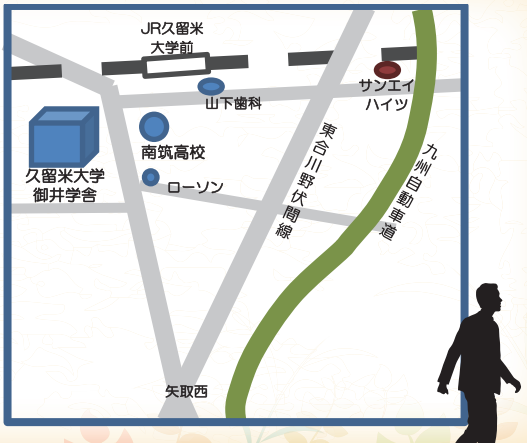
現在のところ、アパートも多いのですが、部活入部希望者は、食事管理が行き届いた施設を希望する声が多く、食事付の下宿の希望者も多いです。しかし、下宿自体が後継者不足で少なくなっているのが現状なんです。

斡旋は地元の不動産業者と提携しているのでしょうか？

そうです。現在18社と提携しており、「本学を通じて紹介を受けた場合、約１ヶ月家賃相当額の紹介料が無料になる」という特典を用意しています。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

それでは、現在の後輩諸君の下宿生活はどのようなものなのだろうか？実は折戸法学部同窓会長は数年間下宿生活を送っていたとのことで、今回折戸会長にご紹介いただき、当時生活していた下宿「サンエイハイツ」を取材することになった。

「サンエイハイツ」は、南筑高校グランド北側の市道を東側に進み、東合川野伏間線バイパスの立体交差を越えたあたり、３階建ての一見するとアパートと見間違うかのような大きな下宿である。現在法学部学生をはじめ、14 名の文系学生が下宿し、寝食を共にしている。出身は九州が大半であるが沖縄からの学生もいるそうだ。下宿を管理する井上さんご夫妻にお話を伺った。



サンエイハイツ

井上ご夫妻と右は折戸同窓会長。

下宿を始めてどのくらいたちますか？はじめたきっかけは？
今後の学生増加を期待して、法学部が誕生した1987年に始めました。法学部も創立30周年なんですね。当時が懐かしいですよ。

下宿の構造や風呂などの設備はどうなっていますか？
昔と変わっていません。むしろ、創業当時は下宿では珍しく、食事つき、ユニットバス付個室というスタイルで始めました。このこだわりが学生のニーズとマッチしたんでしょうね。おかげで現在まで満室が続いております。電話機は、昔は内線スタイルでしたので毎月電話料金の支払いをお願いしていましたが、今は携帯電話が主流ですね。時代がかわりました。

食事や洗濯、門限などはどうなっていますか？学生のルール的なものはありますか？
食事はプレートに入居者人数分を準備しています。食事は各々の部屋で食べるスタイルですね。洗濯機も各部屋におけるようにしてますし、門限もありません。食事の提供時間も設けてはおりますが、それぞれにニーズにできる限り合わせていますね。

下宿ではどのようなことがご苦労されたでしょうか？
苦労、といっても、楽しい思い出が多いですよ。ただ、苦学生もいたんでしょうね。いろいろありましたよ。

下宿の昔と今を比べてどのようにお感じになりますか？
昔は酒、マージャンというイメージでしたが、いまはゲーム機で遊ぶことが多いみたいですね。騒ぐには騒ぎますが、質が違いますね。昔は忘年会もやったりしてましたが、今はないですね。

サンエイハイツの全容。立派な施設である!

下宿前の市道。車もほとんど通らない。

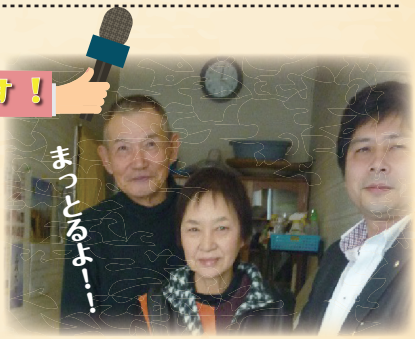
30年くらい前までは下宿が多いと感じていました。さきほど学生課に伺いましたら、周辺の下宿が9施設まで減少していると聞きました。しかし、根強い人気もあると聞きます。下宿屋同士の交流などはありますか？
下宿の同業も少なくなりました。近所にも３件くらい下宿がありましたが、どれもアパートや宅地に変わりました。それでもうちは個室と食事つきが『ウリ』でやってましたから、ここまで続けられていると思います。下宿屋同士の付き合いはないですが、毎年御井学舎学生課が主催する説明会で顔を合わせますね。

女性や留学生の学生を対象としたことはなかったのでしょうか。
女性は昔からOKでしたよ。留学生の方は入れていませんね。

下宿の学生の思い出やエピソードがあれば、教えてください。
昔は御井学舎に「医学部進学課程」があり、医学部医学科の学生も入居していましたね。また、文系学部の学生の中には、甲子園出場経験のある学生もいましたよ。

同窓生に一言お願いします！

サンエイハイツ OB の皆さん、久留米にきたら、是非遊びによってください。まっとるよ！



学生寮紹介 久留米大学

御井学舎より徒歩5分、久留米市立南筑高校の裏手、高良山の麓に久留米大学学生寮がある。設置後長い間相部屋形式による2棟での運用が続いていたが、平成16年度よりアパート形式の第3棟、さらに平成20年度に新たに第4棟が設置された。現在はこのアパート形式の２棟のみが運用されており、その結果、全室個室。さらに栄養バランスのよい手作りの食事を朝夕2食、提供しているなど、私の学生時代から隔世の感がある。

学生寮第３棟、第４棟の概要

- 入寮の対象者（原則）　各学部1年次生
- 部　屋　数　第３棟：38室、第４棟：97室　合計：135室
- 施　設　設　備　居間：約9畳（21．28平方メートル）、冷暖房エアコン付
- 各部屋の家具等　ベッド、ミニキッチン（IHヒーター）、机、ユニットバス、カーテン、クローゼット、洗濯機を設置できる場所
- 共　同　設　備　洗濯機(1階に3台)、コインランドリー(1階)
- 食　事　時　間　朝食：7時30分～9時30分、夕食：16時30分～19時20分

では、これまでの第１寮、第２寮はどうなっているのだろうか？
下宿の取材にご協力いただいた御井学舎事務部学生課の山本課長と善家課長補佐に再びお話を伺った。

久留米大学学生寮の現状

現在の学生寮はどのような運営なのでしょうか？

現在希望者多数のため、各学部１年次のみの入居が許可されています。2年次以降は条件付（成績、生活態度等）で残寮が認められていますが定員が24名と少ないです。2年時以降は模範学生として生活指導役としても期待されています。
なお、学生寮には留学生の入居も認められています（現在10室程度）
寮生は学生課立会いの下、年に一度は寮生総会を開催しているほか、バーベキューパーティーなども開催しているようです。

現在は第１寮、第2寮は開放していないのでしょうか？

施設自体が老朽化し、消防法や耐震基準等にも抵触するため使用していません。

学生寮への希望者は多いのでしょうか？

多いですね。かつては4年次までも多くの学生が条件付ながらも残寮していましたが、90年代半ば（1993年ごろ）から2年次までとなり、第3棟、第4棟ができたころから、1年次を中心として入寮を認めています。

それでも原則１年次学生だけというのも、我々の学生時代とは異なりますね。

そうです。でも、昔も残寮する場合には一定の審査があり、厳しかったんですよ。

学生寮の将来像は描かれていますか？

現時点では未定ですが、何とか充実を図りたいと考えております。実際、解体するにも経費がかかりますし・・・。
なお、現在では、女子留学生専用寮として「久留米大学インターナショナルハウス（通称Ｋ・ハウス）」が設置されているほか、男子留学生は男子学生寮への入居も認められています。

大学学生寮以外の注目施設

さらに、本学が連携した女子専用のアパートが本年4月より運用開始しております（家賃46,000円、食事代21,000円別途）。他にも地元の方と提携した朝夕2食・家具家電付学生寮として「ベルエキップ久留米大学前Ⅰ・Ⅱ」という施設運用を開始しております。こちらの施設は男子学生、女子学生ともに利用可能で、家賃も月4万円からとなっております。

新学生寮寮

このあと、現在学生寮の管理をしている前田さんにご案内いただき、新旧の施設を見学させていただいた。やはり、新寮の施設の充実は目を見張るものがあり、その後に見学した旧寮の姿が哀愁を誘うものがあった。

寮生総会が開催される集会スペース。きれい！

洗濯機は持込も可能だが、共用でコインランドリーも設置！

学生寮にあるゲストルーム。結構広い。

現在の寮生食堂とスタッフの皆さん。ご苦労様です！

学生寮管理人の前田さん。後方は第3棟と第4棟。

旧学生寮寮

90年代卒業の方々には懐かしい、旧学生寮に突入！

むかしはここに管理人さんがおられたとか…。

昔の部屋はこんな感じでした。思い出のある方もおられるのでは…。

いわゆる昔の『談話室』スペースです。

この風景を見て、将来のことを考えていた？

旧寮の廊下の現状です。おお、寒い！！！

久留米大学学生寮都市伝説

～信じるか、信じないかはあなた次第！

- かなり昔の話だが、ある日突然、某公共交通機関の標識が学生寮の玄関先に放置されていたらしい（標識＝○○停であるが、おわかりいただけるであろうか？）。
- 学生寮の学生は、ビニールスリッパ（俗に言う便所スリッパ）を履いて通学していたらしい。
- 長期休暇中は入浴がないため、近所のアパート暮らしの学生宅に頼み込み、風呂に入れさせてもらっていたらしい。
- その昔、年度初めにある新歓コンパでは、それはそれは阿鼻叫喚の世界であったらしい。
- 携帯電話のない時代、公衆電話の当番があり、全館放送で呼び出しをやっていたらしい。
- 夏場には「高良山の肝試し」があり、新入生は本当に肝を冷やしたらしい。
- あのく祭の時には、市内の三本松公園から大学（御井学舎）まで寮生がパレードを行い、御輿を作成していたらしい。
- あのく祭のパレードの途中、石橋文化センターで休憩をとるが、そこで、某先生と寮生が勢い余ってプールに飛び込んだらしい。

取材をふりかえって

今回の取材を通じて、１期生が入学、卒業してもう30年近い年月が過ぎたということを改めて感じた。つい最近卒業した同窓生は、現在の姿に近い学生生活の姿であろうし、一桁期卒業生は、こんなにも御井学舎と学生生活が変化しているのか、ということを感じていただけるであろう。その中でも、まだまだ昔の面影も残しつつ、御井町に久留米大学は存在し続けるのである。

同窓生の皆さんも、新旧混在する久留米大学とその周辺に、是非足を運んで、実感していただきたい。（広報・林田）

熊本・大分地震発生

平成２８年の熊本・大分地震で被害に遭われた方々並びに
同窓生の皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

揺れは突然に襲ってきた――――――――――――。

益城町内にはまだ至る所に危険家屋が残されている。

2016年（平成28年）4月14日21時26分に熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード 6.5の地震が発生した。この地震により、熊本県益城町で震度7を観測し、その後も熊本県と大分県で相次いで地震が発生した。筆者も福岡県久留米市に在住しており、突然の夜中の揺れに驚いたが、さらにその28時間後の4月16日1時25分には、同じく熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、熊本県西原村と益城町で震度7を観測した。マグニチュード7.3 は1995年（平成7年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と同規模の大地震であり、日本国内の震度7の観測事例としては、4例目（九州地方では初）とのことであった。九州にお住まいの方々はちょうど１年前のことであり、まだ記憶に新しいところであろう。

その後も地震はしばらく継続し、最大震度が6強の地震が2回、6弱の地震が3回発生しており、4月16日の本震以降、熊本県熊本地方の北東側に位置する熊本県阿蘇地方から大分県西部にかけての地域と、大分県中部地域においても地震が相次ぎ、熊本地方と合わせて3地域で活発な地震活動がみられた。

今回の一連の地震では死者：50名、重軽傷者：2337名にのぼったほか、震災やその後の関連死も含めると、死者は157名に及ぶ大規模災害となった。このほか避難者数は最大183,882 人、被害総額：最大4.6兆円（いずれの数字も平成28年12月14日現在）と報道がなされている。死者の中には熊本学園大学の学生が地震による山津波に巻き込まれ、８月まで遺体捜索が続くなど、大変痛ましい惨事となった。熊本在住の同窓生の方にもお話をお伺いしたが、家の中の家財道具や食器など、かなり被害があったこと、職場によっては数ヶ月大変な混乱を来たしたことなどもお聞きした。

さて、この地震から約1年が経過したが、現地での生活はどうなっているのであろうか。同窓会でも現在の熊本地方の姿を取材した。

復興は道半ば、継続的な支援が必要

平成29年1月22日（日）雪のちらつく中、法学部同窓会広報部会取材班は熊本へと車を走らせた。

まずは熊本のシンボルのひとつ、熊本城を取材した。思った以上に被害甚大である。国の重要文化財に指定された長塀や櫓が大きな損壊を受けているほか、いたるところで石垣が崩壊している。現在飯田丸五階櫓などの崩壊危険度の高い施設から復旧工事が進められているほか、大天守は取壊しが決定しており、再建は2019年ごろを目標に取り組むとのこと。現場の工事関係者にお伺いしたところ、熊本城全体として凡そ20年間は復旧工事にかかるのでは、との見通しを示された。観光のシンボルであっただけに入城ができないのは残念だが、城内周辺部では観光客向けの売店の再開や、城内の加藤神社あたりまでの周回散策路は整備されていることから、是非皆さんも足を運んでもらいたい。

崩壊寸前で何とか原型を保つ櫓。両岸の石垣は崩壊。左奥は大天守。

続いて、市内商業地域を取材したが、だいぶ落ち着きを取り戻している。中心部の上通り、下通りも多くの買い物客で賑わっており、地震９ヵ月後とは思えない人通りであった。中心部の再開発事業も進められている。旧ダイエー下通店跡には平成 29 年４月オープンを目指して再開発ビル「下通 NS ビル」が整備されているほか、旧バスセンター、岩田屋伊勢丹（旧熊本阪神、県民）百貨店跡を中心とした桜町地区再開発事業も着工した模様。これからの復興の起爆剤、市内中心部の回遊性向上など、多くの期待が寄せられている。

さて、今回被害の最も大きかった益城町にも足を運んだ。益城町役場や文化会館の周辺を取材したが、危険家屋と認定された建物は取り壊しが進められていた一方、いまだ手付かずの家もあるなど、まさに復興道半ば

を実感した。公共施設も損害が大きく、役場も仮設施設での運営が続いているようである。そのようななかでも、商業施設や共同店舗を再開するなどの動きも加速化している。今後も公私にわたる支援が必要であることはいうまでもない。

最後に熊本市内に戻り、益城町に隣接する天然温泉施設に立ち寄った。従業員の方にお話を伺ったところ、「地震発生直後から、市内一円で水道が使えなくなり、この温泉施設に大挙市民が押し寄せました。まだ寒い4月の半ばに3時間待ちという状況でお客様を迎える状況になり、私どもも大変心苦しかったのですが、なんとか市民の皆様のお役に立つことができました。現在は落ち着きを取り戻しています。是非、熊本にも足を運んでください」とのことであった。

益城町文化会館も建物に被害。大きく傾いている。

九州自動車道は益城熊本空港インターチェンジ－松橋インターチェンジ間において、鋭意災害復旧工事が継続されているが、平成29年1月時点ではまだ完全復旧までには至っていない。この影響から、益城熊本空港インターチェンジの手前から鹿児島方面は渋滞が連続して発生している。九州内の物流や観光など復旧のためにも一刻も早い開通が望まれる。もし、同窓生の方々が福岡方面から九州自動車道を経由して熊本市内を来訪される際は、植木インターチェンジか熊本インターチェンジを利用されたほうがよさそうだ。

今回は阿蘇地方には時間の関係上取材はできなかったが、阿蘇大橋の崩落などの立野地区の交通寸断、阿蘇神社などの崩壊、東海大学阿蘇キャンパスの復旧も道半ばと伺っている（実習のみ平成30年度より再開の見通しあり）。一方、南阿蘇ルートの俵山トンネルの開通など明るい話題も聞こえている。いずれにしても観光や酪農など産業に影響が大きいことから、早急な復旧作業が望まれている。

今回の取材を通じて、改めて地震の規模の大きさと、復旧への継続的支援が必要であることを痛感した。

（広報部会取材班：林田・平）

法学部同窓会が熊本・大分地震の被災学生に向けた支援を実施！

熊本・大分地震が発生したのは平成28年4月であったが、法学部同窓会では平成28年5月の理事会において熊本・大分地震の支援を行うことを決定し、平成28年5月に実施した法学部同窓会総会で承認を得た。

当初は地震が落ち着いた10月ごろを目途に、支援ウォークと称して久留米から熊本までの「震災支援呼びかけウオーキング」を企画していたが、事務局体制の交代時期と重なり、準備不足から実施を断念した。

一方、久留米大学に学んでいる後輩学生諸君の中には、熊本・大分地震で多くの被害を受け、学資資金の欠如、生活費の困窮などの要因で、学業継続困難な学生が多くいることがわかった。これらの学生諸君は日本学生支援機構による緊急奨学金の支援を受けることも多いが、こうした後輩の学生諸君に少しでも役立てていただきたいと、法学部同窓会では当初上記行事を予定するべく予算化していた「事業対策費：30万円」を学校法人久留米大学に目的指定寄付することを平成28年12月8日（木）の理事会で決定し、平成28年12月22日（木）に目録贈呈を行った。

熊本市電も元気に運行中。最新型軽快電車も登場し、観光客の目を引いている。

休日ということもあり人通りの多い上通。

当日は、法学部同窓会から折戸謙介会長、林田俊彦財務担当理事および古賀美早紀理事が来学し、学校法人からは神代正道理事長、永田見生学長および廣田りょう常務理事同席の下、折戸会長から神代理事長に目録が手渡された。神代理事長から「熊本地震で被害を蒙った学生・生徒の支援のため有意義に活用させていただきたい」との御礼の言葉が述べられた。

このように、当初構想していた法学部同窓生に向けたイベントの実施は実現できなかったが、法学部を中心とした文系の被災学生後輩諸君への学資支援を通じて熊本・大分地震への直接的な支援は実現できたといえる。

今回の特集にもあるように、まだまだ熊本・大分地震の復興の道のりは長いと目される。息の長い継続した取り組みが必要であるのは言うまでもない。今後も適宜法学部同窓会として支援策を検討、実行していきたいと考える。

（広報・林田）

西嶋法友教授・阿部和光教授の
最終講義&退職記念パーティー

長年、久留米大学法学部で教鞭をとられていた西嶋法友教授（憲法）と阿部和光教授（社会保障法）が、今年3月末をもってご定年をむかえられました。

そこで、両教授の最終講義および退職記念パーティーが、平成29年1月28日（土）に開催されました。そこには卒業生などの懐かしい顔ぶれもそろいました。

まずは、荒井功法学部長（当時・現副学長）が、ごあいさつの後、両教授の略歴をご紹介されました。

そして、神原和宏教授（現法学部長）の司会により、最終講義（2部構成）が行われました。

引き続き、小原清信法科大学院長がご挨拶に立たれました。

第1部

コーディネーターの神原教授

教え子（西嶋ゼミ）からの花束贈呈

第一部は、神原教授がコーディネーターとなり、西嶋教授が「私のルソー研究史」というテーマで講義なされました。なぜ、ルソーを研究対象としたのか、また、学生時代、フランス留学を経て今日に至るまでの幾多の困難を乗り越えながらのご自身の研究史を、笑いも交えられながらお話しされました。

第2部

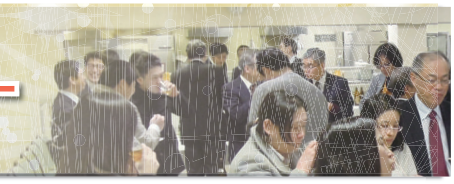
コーディネーターの龔准教授

教え子（阿部ゼミ）からの花束想定

第二部では、龔敏准教授がコーディネーターとなり、阿部教授が「市民生活と社会保障法ー私の研究生活を振り返ってー」というテーマで講義なされました。その中で、学生時代のこと、学会での初報告や公的扶助法・生活保護法との出会いなどの思い出話を、少々、時間オーバーしながらもお話されました。

（広報・平）

退職記念パーティー



最終講義の終了後、大藪志保子准教授の司会により、退職記念パーティーが開催されました。ここでは、同僚やかつての教え子などが両教授を囲み、酒を交えて、昔話に花が咲きました。また、教え子同士も年齢が離れているとはいえ、そこは互いに同じ卒業生、話が盛り上がり、食事をするのも忘れるほどでした。

来賓あいさつのときの一コマ

司会の大藪准教授

野田九州大学名誉教授

折戸法学部同窓会長

満面の笑みの小原法科大学院長

お楽しみ中の西嶋教授

ご歓談中の皆さん

話が盛り上がる卒業生たち

こうして、楽しい時が過ぎ、最後に両教授からのご挨拶をいただき、花束を贈呈し、名残惜しくも会を終えました。

最後にみんなで集合写真

卒業生の皆さんへ

法学部特任教授　　西嶋　法友

今春ご卒業の皆さん、おめでとうございます。今後のご活躍を祈念しております。また既に社会の各分野でご活躍のすべての卒業生の皆さんには、ご健勝のことと存じます。熊本大地震で被災された方もおられるかもしれません。一日も早い復興と生活の再建を念願しております。

私事で恐縮ですが、本年３月をもって定年となりました。沢山の方々にお世話になり、感謝しています。法学部は３月でちょうど創立３０年の節目を迎えました。私が本学に赴任してきましたのは、法学部創設の２年目で、２９年間在任しました。この間、文系キャンパスは当時想像もできなかったほど充実・発展し、その光景も大きな変貌を遂げました。特に小高い丘の上に新築され久留米市街を一望の下に収める１０階建ての研究・事務・教育棟は、本学発展のシンボルで、大学の存在感を一段と高めています。一度ご訪問ください。

同窓会の活動もこの間、不適正な運営に終始していた旧執行部が卒業生の再建集会で排除され、本来の同窓会の姿を取り戻しました。折戸会長を初めとする使命感溢れる役員の方々を中心に、卒業生の皆さんのご努力で、同窓会活動がいっそう力強く発展することを祈っています。

同窓会の皆様へ

阿部　和光

私は今年の３月に、久留米大学を定年退職しました。この機会に、お世話になりました同窓会の皆さんに、ひと言ご挨拶を申し上げます。

本学に赴任以来、法学部および法科大学院の自由な温かい雰囲気のなかで、研究生活を送ることができたことに、私は深く感謝しています。もちろん、この間、平穏な日々ばかりではありませんでした。とりわけ 2004 年頃から表面化した「同窓会問題」は、私にとって難題でした。法学部は全卒業生に呼びかけて、翌年５月に「卒業生集会」を開催し、同窓会の再建を卒業生に委ねました。卒業生の皆さんは、新たに同窓会役員を選出しましたが、当面の活動費も役員会を開く場所もなかったために、折戸会長の行政書士事務所で会合を開いていたことを懐かしく思い出します。こうした粘り強い努力の結果、同窓会の正常化が実現されたのです。厳しい困難を克服して、同窓会は法学部および大学の真のパートナーとなったのです。

今後とも、同窓会が常に活性化を図り「卒業生の憩いの場」であり続けることを願ってやみません。私はすでに高齢者の仲間入りをしていますが、「気持ちの若さ」では同窓会の皆さんに負けないつもりです。教員ＯＢとして、末永くお付き合いいただければ幸甚です。

『職業と社会』とは学生達の進路選択を支援する目的で開講された法学部講義の事を指し、毎週卒業生の方を中心に講師に招きお話を伺うという形式で行われています。法学部ならではと言うべきか公務員志望の学生が非常に多く、そのような状況を鑑みた先生方による「他の職種にももっと目を向けて欲しい」との想いも込められているようです。我が法学部同窓会も平成２４年度よりお手伝いとして参加しているこの講義、昨年度は士業・卸売業・公務員・記者・デザイナー・金融機関職員等様々な職種の方からご協力を賜る事ができ、また初の試みとして４年生の内定者も講師陣に加わる等これまで以上に充実したものとなりました。我が法学部同窓会は、講師を務めて下さる方々の募集や講義の周知を図る広報活動といった面から援助させて頂いておりますが、更なる講義の発展と学生達の社会進出を願い少しでも皆様のお役に立てるよう、より一層尽力して参りたいと思います。

（取材：武藤 史栞）

職業と社会　講師感謝のつどい　開催　報告

平成29年３月11日　17：30より　イタリア酒家 イルボスコ（久留米市）にて今年度「職業と社会」にて講師を担当された法学部ＯＢを中心に、前田先生、神原先生をお招きし、法学部同窓会理事を含め、合計17名で感謝の集いを行いました。

講師を担当されたＯＢを労い、ＯＢ間の交流を深めようということで、今回初めての開催でした。さまざまな職種の方の参加で、初対面ではありましたが、偶然参加者同士の職種が関連業種であったり、耳にしたことはある職業で具体的な内容を直接聞いて、大変勉強になる機会となり大変有意義な時間を過ごすことができました。

講義責任者の前田先生より　「講義に対して学生からの評判は良く、就職活動を始める前に大変参考になっている。法学部の就職内定者率も年々上がってきている。」とのことで、法学部生の就職の支援のお手伝いが出来たのであれば、同窓会としても大変嬉しく思います。今後も法学部同窓会は「職業と社会」の講義を支援するとともに、いろんな職種で頑張っている同窓生をつなげていく役割を活動の柱としていきますのでよろしくお願いいたします。

（同窓会理事・木下）

久留米大学中国会創設十周年記念会に参加

昨年9月14日に中華人民共和国　北京市の中国人民対外友好協会「和平宮」にて開催された久留米大学中国会創設十周年記念会に法学部同窓会の代表として参加する機会を得ました。法学部は少ないものの、経済学部をはじめ各学部に毎年中国から多くの留学生が久留米大学に学びに来ており、その卒業者や大学院修了者を中心に、2006年に同窓組織となる「久留米大学中国会」が結成されています。

前回は久留米で8周年記念行事が開催され、今回は10周年の記念として、久留米大学経済学部と中国社会科学院人口与労働経済研究所ほかとの共催で開催された「第21回社会経済国際シンポジウム」の交流会と兼ねて行われ、日中両国の関係者、同窓生をはじめ本学法人、各同窓会代表や、日本国北京大使館の菊池一等書記官など、多彩な参加者が集まりました。

参加者で記念撮影

この交流会の会場となった中国人民対外友好協会は約１００年前のイタリア大使館をそのまま使っているとのことで、館内は優雅な気分へ誘う独特の雰囲気が漂っていました。交流会では経済学部などの恩師との再開で涙するシーンもあり、法学部同窓会でも大学院比較文化研究科後期博士課程修了の胡　薇（Hu Wei）さんとの同窓交流や参加者との交流も活発に行われました（胡　薇さんについては「同窓生紹介」をご覧ください）。

交流会の前には、北京市の中国社会科学院にて「第21回社会経済国際シンポジウム」が開催され、「東アジアにおける社会・経済の発展と人口高齢化の比較研究」をテーマに、久留米大学をはじめ、日中の気鋭の研究者による研究発表がなされました。このシンポジウムは1996年から開催されているとのことで、今年で21回目を数えます。基調講演および分科会では中国やアジアなどにおける人口高齢化や年金などの問題について、活発な議論が展開されていました。

今後も中国をはじめとした留学生の同窓交流に法学部同窓会でも支援を続けてまいります。　（広報・林田）

第51回あのく祭 Going!!

～突き進む、次なる舞台へ～

１０月２８日～３０日の３日間に渡り、第５１回あのく祭が開催されました。２８日の芸人ライブではアンガールズのお二方と平野ノラさんが、２９日の音楽ライブではＨＯＭＥ ＭＡＤＥ 家族とハジ→の皆様が登場し、近年稀に見る大盛況となりました。３０日夜には毎年恒例の花火ショーも行われ、見事に祭りの最後を飾りました。　（広報・武藤）

団結式の様子

ステージ企画

2016 法学部パーティー

今年も12月14日（水）御井キャンパス学生会館ミーティングルームにて法学部パーティーが開催されました。毎年恒例となっているイベントです。

普段の授業の時とは違い、楽しい雰囲気の中で、先生方と学生達が交流を深める事が出来る場となっています。

私達同窓会もパーティーに招待され、久しぶりに先生方にお会いしてお話したり、法学部の学生のみなさんと一緒に楽しい時を過ごす事ができました。

パーティーでは、法学部チューターのみなさんによるいろいろな企画でたくさんの出し物がありました。学生達によるコーラスやパフォーマンス、先生方による楽器演奏、最後にはビンゴゲームもあり、大いに盛り上がりました。

また、これからもずっとずっと続いてほしいと心が温かくなる法学部パーティーでした。（同窓会理事・益村）

平成28年度 欅（けやき）会報告

林田法学部同窓会財務担当による一本締め

久留米大学文系出身同窓生の学内職員で構成する久留米大学欅（けやき）会の平成28年度総会兼懇親会が平成28年11月22日（火）に開催されました。現在の会員数は101名で大学職員のほかに、本学の外郭団体である一般財団法人久留米大学愛恵会や久大エンタープライズ株式会社、労働組合の久留米大学教職員組合書記局の各職員、書記職員も所属しており、法科大学院の平誠一先生（法学部同窓会理事待遇オブザーバー）も会員として参加しています。今回は31名の参加により盛大に開催され、あちらこちらで同窓の和が広まりました。

総会冒頭の挨拶では、会長の小河和弘氏（商学部卒業、本部事務局経営企画部長）より、「私立大学を取り巻く環境は依然として厳しく、この難局を乗り切るよう同窓生一丸となって各業務へ取り組むことが大切である」と述べられました。

また、懇親会では学校法人久留米大学理事の有馬彰博氏（商学部卒業、元事務局長）のご挨拶のほか、法学部同窓会：林田理事（財務担当）からは90周年記念募金活動強化を祈念して一本締めで締めくくられました。

今後も本学出身の同窓生職員が中心となり、久留米大学の発展と本学と全国の同窓生の架け橋となるべく尽力していく所存です。（広報・林田）

懇談する学内同窓職員

久留米大学国際交流懇親会が開催されました

平成28年12月10日、留学生と本学教職員や学生との交流を図るため、また、留学生を受け入れてくださっている地域の皆様等をお招きし、日頃の感謝の気持ちを伝えるため、御井キャンパスにおいて国際交流懇親会が開催されました。留学生や日本人学生、山本学生課長のパフォーマンスで盛り上がりました。（同窓会副会長・山下）

久留米支部

総会・懇親会

平成29年2月18日（土）に開催された久留米大学同窓会久留米支部の総会・懇親会にお邪魔してきました。隔年開催ということで、2年ぶりの再会を喜ばれる方々もいらっしゃいました。

厳粛な中で総会が進められ、その後に懇親会が開かれました。そこでは、学部・学年の壁を越え、和やかな雰囲気の中、歓談が進みました。また、チアリーディング部の模範演技も行われました。

最後に全員で校歌を斉唱し、応援団ＯＢの方のエールが送られました。久留米近郊にお住まいの方、一度、ご参加してみてはいかがでしょうか。楽しいひと時が過ごせると思いますよ。

（広報・平）

福岡支部

第5回生　折戸　謙介

『法学部』同窓会でもなく、『商経』同窓会でもなく、『久留米大学同窓会福岡支部』として、福岡支部は活動しています。福岡支部は主として商学部出身の先輩方により運営がされていますが、私は副支部長として参加させて頂いていますし、他にも数名の法学部出身の方が役職者として活動されています。久留米大学では、学部の垣根を越えて活動している唯一の同窓会かもしれません。

活動内容としては、2年に一回の総会・懇親会を主な活動としながら、夏の集いや新年会など、数多くの行事を開催しています。そして、それらの行事の準備のための役員会も活発に行っており、和気あいあいと、ときには熱く激論を交わしながら活動しています。ただ、近年では参加者が減っているのが悩みの種です。とくに30代～40代の参加者が少なく、そうした中堅層をどのように取りこんで行くのかが今後の大きな課題です。福岡近郊にお住まいの方は、是非一度、ご参加下さい。

佐賀支部

佐賀県支部支部会・懇親会

村井　健太郎

平成29年2月12日（日）「グランデはがくれ」にて佐賀県支部支部会・懇親会が開催され、来賓として出席してきました。

今年の講演は商学部卒の川久保氏（神埼警察署長）によるテーマ「交通安全について」でした。神埼警察署管内の治安情勢等について話され、私も含めて出席者は皆、興味深く聞き入っていました。

その後全員で写真撮影が行われました。

懇親会では薬師寺名誉学長、福永商学部長、浅見経済学部長による来賓挨拶の後祝宴に入り、商学部卒の大先輩方多数の中、近況報告や昔の大学時代の思い出・エピソードなど話に花が咲き大いに盛り上がりました。

私自身も佐賀県出身ということもあり、また来年の参加を今から楽しみにしています。

平成28年度　法学部同窓会学内支部総会・懇親会

法学部同窓会学内支部長　村井　健太郎

今年度の学内支部総会・懇親会は平成28年9月2日（金）「Dining　KATSURA（ダイニング カツラ）」【久留米市螢川町】にて開催しました。

来賓として荒井法学部長、小原法科大学院長と事務部門から重石御井学舎事務部次長の3名にご出席頂きました。

今回特筆すべきは、出席者が来賓の方々も含めて過去最多の15名であったということです。毎年少人数でこじんまりとしていましたが、今年度は多数出席で先生方も含めてとても盛り上がり盛会となりました。

今後さらに学内支部会による縦及び横のつながりをいっそう強めて益々発展させていければと考えています。

サークル訪問

古川雄司（法学部国際政治学科17回生卒業）

法学部国際政治学科17回生卒の古川雄司です。私は現在、本学本部事務局財務部用度課で働くかたわら、硬式野球部のコーチをさせていただいています。久留米大学硬式野球部は昭和26年に創部され，九州六大学野球連盟に所属しています。現在，1年生31名、2年生40名、3年生41名の計112名、監督，コーチ3名，マネージャー2名でリーグ戦優勝を目標に活動しています。両翼96m・センター120mの藤山野球場があり練習環境にも恵まれ、日々、選手を指導する中で、野球の技術習得はもちろん，挨拶・返事、身だしなみ等のマナーについても厳しく指導しています。私自身、久留米大学硬式野球部で4年間野球に打ち込む中で、最高の仲間と素晴らしい経験をさせていただくことが出来きました。現役の選手にも，久留米大学で学生最後の硬式野球をして良かったと、心の底から思ってもらえるよう指導をしていきたいと思っています。私も、大学職員・コーチとしてまだまだ未熟者ですが、毎年新しい出会いがあり、指導をする中で学ぶことが多々あります。選手と共に成長し、久留米大学を盛り上げていけるよう日々鍛錬していきます。

リーグ戦にて

4年生追い出しコンパにて

春・秋のリーグ戦では、良い報告ができるよう頑張りますので、是非球場にも足を運んで応援していただけると幸いです。今後とも、久留米大学硬式野球部を宜しくお願い致します。

第二七回　久留米大学法学部 卒業式・祝賀会

平成 29 年 3 月 21 日（土）、久留米大学御井キャンパスみいアリーナにおいて、第 27 回法学部卒業式が挙行されました。

当日は、朝から雨が降ったりやんだりのお天気でしたが、晴れ着に身を包んだ卒業生たちが会場に集まり、互いに記念写真を撮ったり、談笑したりして、みいアリーナ前は華やいだ雰囲気でした。

卒業式が終わるころには雨も上がり、卒業生は用意されたバスに乗り、卒業祝賀会の会場となる久留米市内のホテルニュープラザへ向かいました。

そこでは荒井法学部長（当時・現副学長）の挨拶の後、父母の会会長、卒業生代表、3 月 31 日をもって定年を迎えられた西嶋法友先生が「エイエイオー」の景気の良い掛け声に合わせ、鏡開きが行われました。そして、同じく定年を迎えられた阿部和光先生の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

晴れの日を迎えた 303 名の卒業生は、会場のあちらこちらで先生方と語り合い、苦楽を共にした仲間たちと歓談していました。また、壇上ではゼミ毎に記念撮影が行われ、みなさん、楽しいひと時を過ごされていました。

気が付けば祝賀会も終盤を迎え、チューターへの感謝状の贈呈へと移り、学生一人ひとりに荒井法学部長より感謝状が手渡されました。その後、法学部長とチューターによる万歳三唱で、祝賀会は幕を下ろしました。会が終わった後も、先生方や卒業生同士の写真撮影は続き、いつまでも名残を惜しんでいました。

卒業生のみなさまのご活躍を、心より祈念いたします。（広報・平）

卒業生抱負

重松拓見
（法律学科）

私は大学で将来の夢や目標を見つけようと思い、入学した学生の一人でした。

きっかけというものはどこにでも落ちていますが、意識しないと見つけることができないもので一年生の最後にようやく見つけることができました。それが自分の場合は法学部のチューターという組織でした。

オリエンテーション合宿でチューターに出会い、大学生活の不安を取り除くことができました。その経験から自分もその立場に立ちたいと思いました。

先生や先輩、後輩と一緒にオリエンテーション合宿が新入生にとってより良いものになるように活動を行い、その過程で自分も大きく成長することができました。

このような貴重な経験ができたのも久留米大学に入学したからです。お世話になった先生方、友人に感謝して久留米大学で学んだことを最大限に生かし、大学外でも同じようにきっかけを探して成長していきたいと思います。

同窓生紹介

柴田（しばた）　大輔（だいすけ）さん

卒業年 2007年卒業
卒業学科 法律学科
出身ゼミ 宗岡ゼミ
出身部活 １年ほどボクシング部に所属しており、その後、部活ではありませんが、 日韓交流サークル「チング」（準公認であったと記憶しております。）に所属しておりました。
現在の居住地 福岡市南区
現在の職業 建設会社の株式会社銭高組　九州支店にて勤務しており、2016年４月より現在の営業第二部へ赴任し、主に福岡県内の企業様、学校法人様等へ営業をさせて頂いております。（勿論、久留米大学へも営業させて頂いております。）
また、人事担当者と就職課へも訪問させて頂き、会社説明会に参加し、文系学生には馴染みの無い所謂ゼネコンへの就職を案内させて頂いたり色々やらせて頂いております。
余談ですが、法学部お馴染みの700号館は当社が施工しました。
現在思うこと 久留米大学法学部を卒業して早いもので10年を迎えようとしています。在学中はあまり真面目に学校に行ってなかったなぁとか、もっとこんなことしておけばよかったなぁと思い返すと同時に、母校の変わらないところに懐かしい気持ちと当時の自分が顔を出すことがあります。この10年で良くも悪くも自分が変わってしまったことを実感させられます。今まで同窓会について何もしていなかったことを省みたい思いと、思い出の場所として同窓会があることのありがたさを感じております。
同窓生へ一言 「第２回ホームカミングデー」に参加させて頂き、そこで同窓会の先輩方にお会いできたことがきっかけで当会報にてご紹介頂く事となり、改めまして「出会いのありがたさ」や、「久留米大学の温かさ」を実感しております。今後も同窓生の方々と交流させて頂きたいと思います。皆様よろしくお願いします。

Hu Wei（胡　薇）さん（中華人民共和国）

中国社会科学院中国社会科学評価研究院　副教授　法学博士

昨年の９月、中国会の 10 周年記念行事に参加した折、留学生のお一人から声をかけていただいたのが、胡　薇（Hu Wei）さん。数少ない法学系の留学生の方です。

法学部に在籍はないものの、大学院比較文化研究科で前期・後期博士課程を修了し、法学博士学位を授与された同窓生の方でした。筆者もお会いできないのでは、と思っていましたが、思わぬ出会いから、母校久留米大学の話で盛り上がりました。

大学院修了後も大変なご活躍で、現在は中国哲学及び社会科学研究の最高学術機構、中国政府に最大のシンクタンクである中国社会科学院で、全世界のシンクタンク、特に日本系シンクタンクの総合研究と評価を行うなど、卒業生の一人として大変うれしく、誇りに思います。　（広報・林田）

＊胡　薇（Hu　Wei）さんからの一言

いろいろと留学時代のことを話しますと、すごく懐かしくなってきました。また機会がありましたら、母校に帰りたいです。宗岡先生をはじめ、法学部の先生方に宜しくお伝えください。また何時かお会いできる日を心より楽しみにしております。

左から林田理事（筆者）、胡　薇（Hu　Wei）さん、経済学部の伊佐教授　於　中国人民対外友好協会　和平宮にて

稲田（いなだ）　賢（たかし）さん

卒業年 1992 年
卒業学科 法学部法律学科
所属ゼミ 原島ゼミ
現在の居住地 北九州市八幡西区
現在の職業 JR 九州の関連会社
現在思うこと 縁あって、最近の同窓会総会、懇親会に毎年参加するようになりました。
１年に一度の顔合わせですが、再会の喜びと、新しい出会いがあり、とても充実したひと時を過ごせています。
今年も参加の予定です。同窓生のみなさん、５月に元気な姿で会いましょう。
同窓生へ一言 今年の同窓会にも出席の予定です。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

最愛の息子さんとともに

卒業生に会える店

BAR ETERNITY

西鉄久留米駅からほど近い、一番街のアーケード入口を正面にして左に曲がりしばらく歩くと、そこにある。その名も「BAR　ETERNITY」。法律学科11回卒の堀之内昌隆さんが経営されています。

エレベーター横

お店データ

福岡県久留米市東町33-16
営　業　20:00～LAST
店休日　不定休

今回は法律学科11回卒の堀之内さんの経営する「BAR ETERNITY」にてお話しをうかがいます。

なぜ、お店を開こうと思ったのですか？

堀之内さん（以下、堀）：自分のセンスが生かせる仕事がしたかったからですかね。クラブ・サロン・バーなど、自分自身でお店を持ちたかったというのがあります。2003年の開業ですから、14年目になります。

真剣なまなざしの堀之内さん

この間にご苦労されたことはありますか？

堀：最初の頃は、睡眠時間が2～3時間で昼夜働いていることもありました。今でも苦労が絶えませんが好きな仕事なので頑張れます。

お客さんには、どのようなスタンスで接しているのでしょうか？

堀：お客様が素の自分と向きあえる雰囲気を作るように心がけています。自分の気持ちがストレートに伝わるように本音で話すよう心がけています。

大学関係者もよくここを利用するのでしょうか？

堀：卒業生、大学職員、そして先生方が多く来られています。先生がゼミ生を連れて来店されることもあります。

おすすめの飲み物はなんでしょう？

モスコミュール

ジントニック

堀：カクテルの中でも、ジントニック、モスコミュール、ジンリッキーはお客様に定評があります。自分の自慢の一品はショートカクテルのバラライカです。

これから先、やりたいことはなんでしょう？

堀：働けるまで働いて、自分とは何かを追及していきたいですね。

取材中に女性のお客様がご来店

お客様と一緒に楽しむ堀之内さん

哲学的ですね。最後に、後輩たちに一言お願いします。

堀：成功の秘訣は、自分のしたいことは決してあきらめないこと。努力は報われます。また、年齢を重ねると、大学時代の仲間の大切さをしみじみと感じるので、友人関係を大事にしてください。

ご協力、ありがとうございました。

この後、われわれ取材班も一杯いただきました。ちなみにこのお店、ドリンク一杯が500円～と、とてもリーズナブル。卒業生の皆さんもぜひ、ご気楽に足をお運びください。

森と湖の国

Love♡ フィンランド最新情報

フィンエアーで福岡から出発！！
福岡から直行で９時間 30 分で行けるフィンランド。
飛行機の中でちょっとウトウトしてたら着いてしまう。
日本からもっとも近いヨーロッパなのです。

ヘルシンキのシンボル的存在
ヘルシンキ大聖堂

フィンランドと言えば・・・・・

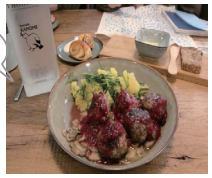
マリメッコ、北欧デザイン、ムーミン
本場のサウナ etc

フィンランドは治安が良く、フィンランドの人々はとってもおおらかで、親切です。
小さな子供連れでも安心して楽しめます。
ただし、物価は少し高いかも・・・・。

2006 年に公開された映画

「かもめ食堂」

フィンランドブームの火付け役にも
なった映画のロケ地を巡って来ました。



ミートボール

シナモンロール

かもめ食堂内

かもめ食堂外観

メインロケ地の「かもめ食堂」には、
日本語メニューがあり、日本人スタッフ
もいて、安心して注文できますよ♪
ミートボールとシナモンロールは絶品です。

夏に行くなら

ムーミンワールド

フィンランド南西部海岸にあるナーンタリの離れ小島にあるムーミンワールド。
夏の３ケ月しか開園されない夢の世界を体験しに行こう！

それから・・・
夏に行くと、夜中になっても太陽が沈まない「白夜」も体験できるよ！

冬に行くなら

サンタクロース　エキスプレス（寝台列車）に乗る
（ヘルシンキ～ロヴァニエミ 12 時間）
北極圏に突入
↓
本物のサンタクロースに会いに「ロヴァニエミ」に行く
↓
トナカイのそり体験　スノーモービル
↓
夜はオーロラ鑑賞

ヘルシンキグルメ

フィンランド人は、とにかくスープが大好きで、
メイン料理としてスープを楽しむそうです。

一品でも美味しいあったかスープ

サーモンスープ

ミートボール

素朴な味わいのミートボールは
家庭料理の代表格です。

おすすめのお土産

映画の中にも使われた「イッタラ」の
マグカップ　超人気シリーズ

チョコレートブランドとしても有名な
「FAZER（ファッツェル）」のチョコ

（取材：松尾朝子）

平成28年度法学部同窓会定期総会・懇親会開催

平成28年5月28日（土）、御井キャンパスにおいて、法学部同窓会定期総会・懇親会が開催されました。

定期総会は御井本館8階スカイラウンジAにて21名の参加者（委任状113通）のもと下記の議案（※）について提案が行われ、いずれも承認可決されました。今年度は、平成27年度から運用が開始された御井本館にて開催され、初めて訪れる教室に参加者の方からは歓喜の声も聞こえました。

※第一号議案　平成27年度事業報告について
第二号議案　平成27年度決算報告について
監査報告
第三号議案　平成28年度事業計画について
第四号議案　平成28年度予算の決定について
第五号議案　書類保管年数の改正について

総会終了後は学生会館2階の「欅（けやき）」に会場を移し懇親会が行われました。待ち時間の間に恒例となったキャンパスツアーでは御井本館の施設を見て頂きました。今後のキャンパスツアーでも、更にリニューアルする御井キャンパスの姿を楽しんで頂けることと思います。

乾杯の後は、久しぶりの旧友との再会を懐かしみ昔話に花を咲かせ、大変和やかな時間をお過ごしいただけたようです。懇親会の後半にて行われたくじ引きでは、バラエティに富んだ景品をご用意し、くじ番号が読み上げられるたびに会場が盛り上がり大変ご好評頂きました。これからもより多くの同窓生の皆様に楽しんでいただけるよう、内容を充実させていきたいと思います。

平成29年度定期総会・懇親会は5月27日（土）に開催いたします。皆様のご参加を執行部一同心よりお待ちしております。　（同窓会理事・川口）

執行部役員紹介

理事　**古賀 美早紀**（24期生）

法律学科第24回卒業の古賀と申します。学内職員として卒業後も大学に関わっています。この度、縁があって法学部同窓会理事としても大学に携わることになりました。大学と同窓会の架け橋として、地道に活動できればと思っています。

法学部同窓会活動報告

平成27年度
4月4日　4月理事会
4月22日　商経同窓会福岡支部会会議
5月6日　入学式
5月25日　商経同窓会総会・懇親会
5月30日　法学部同窓会総会・懇親会
5月16日　会計監査・5月理事会
6月18日　商経福岡支部会会議
6月30日　連合同窓会運営委員会
7月7日　綱紀監査部会
7月　法学部イベント七夕デー
7月24日　商経同窓会福岡支部会「夏の集い」
8月27日　綱紀監査部会
8月28日　学内支部会
9月15日　綱紀監査部会
9月16日　9月理事会
9月30日　商経同窓会福岡支部会会議
10月23日　商経同窓会日田支部会懇親会
30～11月1日　あのく祭
12月4日　綱紀監査部会
12月3日　商経同窓会福岡支部会会議
12月9日　法学部パーティ
12日　国際交流懇親会
1月28日　商経同窓会福岡支部会会議
2月12日　2月理事会
3月6日　商経同窓会佐賀支部会
14日　商経同窓会福岡支部会会議
22日　卒業式
25日　3月理事会

平成27年度決算・平成28年度予算（自 平成27年4月1日～ 至 平成28年3月31日）

（単位：円）

借方				貸方			
款	項	28年度予算案	27年度決算額	款	項	28年度予算案	27年度決算額
事業費		4,830,000	3,491,312	会費収入		9,450,000	6,540,000
	旅費・交通費	600,000	353,870		入会金	9,450,000	6,540,000
	会議費	20,000	9,122		会費	0	0
	総会費	900,000	821,489	利息収入		1,500	1,371
	渉外費	300,000	74,400		預金利息	1,500	1,371
	印刷費	10,000	7,500	雑収入		0	61,200
	会報費	1,600,000	1,495,819		雑収入	0	61,200
	広報費	350,000	77,912				
	支部対策費	100,000	76,200				
	あのく祭援助費	250,000	250,000				
	補助費	400,000	325,000				
	事業対策費	300,000	0				
記念事業費		1,000,000	0				
	記念事業費	1,000,000	0				
事務費		3,910,000	2,647,223				
	人件･福利厚生費	0	2,308,008				
	人件費	2,400,000	0				
	福利厚生費	200,000	0				
	事務局維持費	150,000	96,626				
	通信運搬費	120,000	98,576				
	消耗品費	30,000	29,813				
	雑費	800,000	109,880				
	備品費	70,000	0				
	被服費	130,000	0				
	支払手数料	10,000	4,320				
積立金支出		1,000,000	500,000				
	基本金支出	500,000	500,000				
	事業積立金支出	500,000	0				
未払金		0	0				
	未払金	0	0				
予備費		11,312	798				
小計		10,751,312	6,639,333	小計		9,451,500	6,602,571
				事業積立金取崩		0	0
次年度繰越金		0	1,299,812	前期繰越金		1,299,812	1,336,574
合計		10,751,312	7,939,145	合計		10,751,312	7,939,145

地域学演習学生プロデュース酒『久留米大学酒』が発売されます！

地域学演習の２０１６年度の講義では、企業と大学がコラボしてオリジナルの日本酒「久留米大学酒」を共同開発した。学生は工場見学や講義を通し、商品化されるまでの過程についても理解を深めた。

地域学演習では、学生は企業の生産技術・商品開発のことなどを、実際に経営学と経済学を体験から学び、学生オリジナルの考えを商品に反映させること。久留米大学にとっては、大学ブランドでの商品を作ることにより、企業との連携や地域とのつながりを強めるとともに大学のＰＲにつながること。企業にとっては、若い人達・学生のアイデアを取り入れた商品を開発することにより学園都市でのアピールを学生を通して行うこと。以上の各々の目的の達成を目指して取り組んで完成したものが地域学演習学生プロデュース酒『久留米大学酒』である。

２０１６年６月には課外授業にて本村商店株式会社さま協力のもと30名程の受講生が「株式会社花の露」「比翼鶴酒造株式会社」、の２つの酒蔵を見学し実際に現場で学ばせていただき試飲をした。

講義のなかでは日本酒に関する理解を深めた後、久留米大学生オリジナルの日本酒を提案した。商品名、ターゲット、味や香りなど、若者がどういった日本酒を飲みたいのか（ターゲット層）などを全員で１つずつ提案し、まとめる作業を行った。

２０１６年９月には、学生の案により2種類の日本酒を作るということで決定した。学生が最終段階の商品名、ビンの色、ラベル、蓋のデザイン、首掛けラベル価格、について意見を出し、その中から決定した。２種類とも久留米大学のスクールカラーであるダークグリーンの色の瓶である。久留米大学を知っていただくため、そして卒業されたＯＢ・ＯＧの方々に久留米大学を思い出しながらお酒を楽しんでいただきたいという想いを込めて１つは「久留米大学酒　旭」（医学部本部正面のラベル）であり、もう１つは「久留米大学酒　御井」（新設された御井本館のラベル）という名前である。２０１７年３月16日に「久留米大学酒」発売発表会が記者会見の形で行われた。ぜひ手に取っていただき一度久留米大学を思い出しながらご賞味いただきたい。

（久留米大学　地域連携センター
学長　特命講師　松下愛）

久留米大学オリジナルグッズの紹介2017

久留米大學

㈱久大エンタープライズ　村井　健太郎

現在㈱久大エンタープライズに出向中の第１期卒の学内職員村井健太郎です。

㈱久大エンタープライズは、学校法人久留米大学の１００％出資による子会社として平成２０年３月に設立されました。本部は大学本館１階にあります。

業務内容については、配送室業務・総合施設管理業務・オリジナルグッズ販売業務・図書館業務等多岐に渡り日々本学のための業務を遂行しています。

今回はそのなかで久留米大学オリジナルグッズについてご紹介します。

久留米大学オリジナルグッズは、大学の理念を念頭に地場の特産品である「久留米絣商品」「豚骨ラーメン」「博多織商品」「酒類（本部売店のみ販売取扱）」等を中心に販売されています。

なかでもタンブラーやミニタオル、ボールペン等の商品は、ワンコイン前後で購入できるよう価格設定されており、大学内でイベントの景品や記念品、お土産品として広くご活用いただいています。

特に「久留米大学ラーメン」は学生の親御さんからも好評のようです。

（「親においしかったからまた買ってきて。」と言われたと来店する学生が多数いるそうです。）

久留米絣

㈱久大エンタープライズ売店（３ヵ所）

①本　店　売　店：大学本館１F（８：30～16：30）
※酒類販売は本部のみとなります。
②病院本館売店：病院本館３F福岡銀行ATM横（９：30～16：30）
③御井学舎売店：御井学館２F（11：30～16：30）

■久留米絣
コースター

価格：432 円

■久留米絣
がま口印鑑ケース

価格：864 円

博多織

■博多織ネクタイ
ストライプ

4色：ブラウン・エンジ・ネイビー・グリーン

価格：4,750 円

らーめん

■久留米大学ラーメン
（とんこつ味：２食入り）

価格：540 円

＊価格はすべて消費税込です。

大学だより

日本学生支援機構奨学金を返還中の皆さんへ

卒業生の皆さん奨学金の返還は順調でしょうか？

万が一、経済的な理由等で返還が困難となった場合、以下のような返還猶予制度がありますので延滞することの無いよう、返還猶予制度をうまく活用してください。

①減額返還制度

毎月の返還額を半分に減額して返還することができます。毎月の返還額を減額するため、無理なく返還を続けることができます。

②返還期限猶予

一定期間「返還を停止し先送りにする」事により、その後の返還がしやすくなります。

電話による相談先
日本学生支援機構 奨学金返還相談センター（0570-666-301）

（御井学舎事務部学生課）

同窓生の皆様へ　母校の就職支援ができませんか？

近年、大卒求人倍率の上昇、企業の新卒採用数の堅調な推移等、引続き売り手市場の傾向となっております。久留米大学文系学部の就職率も年々上昇しており、九州の総合大学ではトップクラスの就職率を維持することができています。しかし、２年連続の採用選考時期の変更や、情報解禁（３月）から選考解禁（６月）までの期間が短期間であるなど、学生にとって厳しい状況も続いております。就職・キャリア支援課としても、様々な就職支援行事、個別相談など教員や地方自治体とも協力しながら進めてまいりたいと思いますが、社会の第一線でご活躍されている同窓生の皆様のお力添えを是非お願いしたいと思っております。学生もインターンシップやOB･OG訪問等社会人と接触することに力を入れております。学生よりOB･OG訪問依頼や就職に関する相談等がありましたら、可能な限りご指導・ご助言していただければ幸いです。

（御井学舎事務部就職キャリア支援課・実松智也）

「職業と社会」の講師募集！！

基礎専門科目「職業と社会」がリニューアルして５年目を迎えます。現在では、社会人として活躍されている法学部卒業生を講師としてお招きして、キャリアと仕事について２～４年生にお話をしていただく構成となっています。法学部の進路は他学部と比べて多様であり、公務員、資格試験、民間企業、マスメディア、自営業などさまざまな分野の話を生で聞くことのできるこの講義は受講生にも大変好評です。

同窓生の皆様で講師を努めてくださる方を広く募集しています。

自薦他薦問いません。ご協力お願いします。

（法学部　教授　前田　俊文）

久留米大学法学部同窓会総会・懇親会開催のお知らせ

平成29年度久留米大学 法学部同窓会定期総会を下記の通り開催いたします。
総会終了後、同窓生の皆様の親睦を深め、交流をはかる目的で懇親会を計画しております。豪華賞品が当たる抽選会も行います。ぜひとも万障お繰り合わせの上、お気軽にご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日　時　　平成29年５月27日（土）14：30～（受付14：00より）
場　所　　総　会　　御井学生会館　３Ｆ　ミーティングルーム
　　懇親会　　御井学生会館　２Ｆ　欅
参加費　　無　料
内　容　　総　会　　平成28年度の事業報告ならびに決算審議について
　　平成29年度の事業計画ならびに予算審議について

＊出欠のご連絡は会報と同封のハガキにてお願いいたします。

以上

同窓会事務局より

事務局員が変わりました

昨年12月より法学部同窓会事務局員として勤務しています古賀典子と申します。入ったばかりで、わからないことも多く日々奮闘中です。早く慣れるように頑張りますのでよろしくお願い致します。

住所変更について

同窓生の皆様で、現住所の変更がありましたら、同窓会事務局までご一報ください。また、住所変更を依頼したのに実家に会報が届いている、改姓を依頼したのに旧姓のままになっているなど、変更が反映されていない方がいらっしゃいましたら、再度ご変更のご連絡いただけないでしょうか。同封の総会出欠連絡用のはがき、またはホームページ、お電話などでも受け付けております。同封のはがきは住所変更や近況報告だけでも投函できますので、是非お知らせください。

同窓会会報への投稿について

近況報告やゼミ会、または職場の取材をして欲しい、会報に広告を掲載したいetc.会報への投稿をお待ちしています。同封の総会出欠連絡用のはがきの近況欄やメールでどうぞ。その他、お問い合わせなどありましたら下記連絡先までお気軽にお知らせください。

支部会・同期会の立ち上げ支援について

同窓会では支部会や同期会の立ち上げの支援を行っています。支部会、同期会の立ち上げを考えの方がいらっしゃいましたら下記連絡先までお知らせください。

久留米大学法学部同窓会事務局　　TEL・FAX　0942　43　5164
E-mail　krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

編集後記

久留米大学法学部同窓会2017年度会報の編集に初めて携わり、改めて記事依頼、集約など多岐に業務があることを理解できました。ご協力いただきました広報部会員の皆様に感謝申し上げます。また、Facebookやホームページのほか、硬式野球部応援広告の掲出なども展開しましたが、この会報は情報発信の集大成でもあり、同窓会活動や同窓生の活躍を記録する媒体となります。是非Facebookやホームページからご意見をお寄せ下さい。
最後になりましたが、会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

2016年度法学部同窓会　広報部会　部会長　林田俊彦
（法学部法律学科　第2回卒業）

発行所　**久留米大学法学部同窓会**
〒839-8502　久留米市御井町 1635
TEL/FAX　0942（43）5164
URL：http://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/
E-mail：krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

発行人　折戸　謙介
印刷所　株式会社 大里印刷センター